

牛久市教育委員会 4月定例会会議録

1. 日 時 平成29年4月17日(月)午後1時45分
2. 場 所 市役所本庁舎 第3会議室
3. 出席委員 染谷 郁夫・石井 美知夫・後藤 雅宣・芦田 亜里香・五十嵐 登喜子
4. 委員以外の出席者
 

教育部長		川井 聡
次長		杉本 和也
次長		飯野 喜行
教育総務課	課長	川真田 英行
教育総務課	学校建設対策監	佐藤 孝司
指導課	課長	村松 美一
放課後対策課	課長	吉田 茂男
文化芸術課	課長	手賀 幸雄
生涯学習課	課長	横瀬 幸子
中央図書館	館長	関 達彦
スポーツ推進課	課長	齋藤 勇
国体推進課	課長	横田 武史
教育総務課	課長補佐	富田 真幸
教育総務課	課長補佐	戸塚 美幸
教育総務課	課長補佐	森田 明
教育総務課	課長補佐	高野 裕行
指導課	課長補佐	山口 明
文化芸術課	課長補佐	永沼 智子
生涯学習課	課長補佐	山越 義弘
スポーツ推進課	課長補佐	飯島 美博
スポーツ推進課	課長補佐	飯島 章友
国体推進課	課長補佐	高橋 頼輝
5. 会議録署名人 芦田 亜里香
6. 議 題
 

議案第10号	牛久市地域学校コーディネーター設置要綱の制定について
議案第15号	牛久市学校サポーター及び学校教育コーディネーター事業実施要綱を廃止する訓令について
議案第16号	牛久市学校サポーター事業実施要綱の制定について
議案第17号	牛久市スクールアシスタント設置に関する規則の一部改正について
議案第25号	牛久市地域学校コーディネーターの委嘱について
議案第26号	牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会委員の委嘱・任用について
議案第27号	新中学校の校名について

議案第28号 第一幼稚園の位置について

7. 報告事項 報告第9号 平成28年度牛久市奨学金の受給者について

教育長	<p>平成29年度第1回会議のため各委員、事務局職員自己紹介を行う。</p> <p>(あ い さ つ)</p> <p>開会を宣言する。</p> <p>会議録署名人 芦田 亜里香 委員を指名する。</p>
教育長	<p>それでは、議案第10号「牛久市地域学校コーディネーター設置要綱の制定について」、議案第15号「牛久市学校サポーター及び学校教育コーディネーター事業実施要綱を廃止する訓令について」、議案第16号「牛久市学校サポーター事業実施要綱の制定について」、議案第17号「牛久市スクールアシスタント設置に関する規則の一部改正について」及び議案第25号「牛久市地域学校コーディネーターの委嘱について」関連する議案ですので、事務局より一括して説明をお願いいたします。</p>
放課後対策課長	<p>まず、議案第10号から17号につきましては、先月の定例会で上程させていただきましたものを、再度検討を加え再上程させていただいているものであります。</p> <p>議案第10号「牛久市地域学校コーディネーター設置要綱の制定について」ご説明させていただきます。</p> <p>主な変更点は、第2条の地域学校コーディネーターの職務につきましてより具体的な表記に変えたことと、想定される主な活動を列挙することで、地域学校コーディネーターの職務を明確にしました。</p> <p>なお、第2条において「学校サポーターとのかかわり」が「学校サポーターの紹介」となっておりますが、これは議案第16号の牛久市学校サポーター事業実施要綱の第9条の規定にありますとおり、学校サポーターの事務は指導課で行うことにより、実際の学校サポーターの依頼は指導課で行うこととなりますので、地域学校コーディネーターの役割は指導課からの依頼を受けての学校サポーターの紹介となるためです。</p> <p>続きまして、議案第25号は、議案第10号の地域学校コーディネーターの</p>

	<p>委嘱についてであります。地域学校コーディネーターについては、平成27年度より土曜カップ塾の運営補助から活動を始めまして、あわせて育成のための研修会等を年に数回実施してきたところでありますが、今年度設置要綱を制定するのに合わせて、各小学校別に計21名の方を委嘱するものであり、議案第10号、第15号、第16号、第17号と合わせ、委員会の同意を求めるものであります。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>第10号は、前回分かりにくいということで差し戻した議案だと思います。第2条を前回の指導を受けて変えてきたということだと思いますが、委員の皆様、第2条等をごらんになりながら、またご意見がありましたらお願いします。</p>
石井職務代理人	<p>前回提案いただいた内容から比べると、大分職務の内容もはっきりわかりましたし、それからほかの学校サポーターとの関係性とか、あるいは指揮系統とかというのが幾分か読み取れるようになったかと思っております。</p>
教育長	<p>私からいいですか。</p> <p>議案第25号に、牛久市地域学校コーディネーターの委嘱ということで、今8つの小学校のコーディネーターの名前がここにあるのですが、これは今後増えていくような形になるのでしょうか。それともこの数でやっていくような形になるのでしょうか。</p>
放課後対策課長	<p>一旦は21名の方に委嘱をお願いしてございますが、状況によりましては増えていくことも想定されております。</p>
教育長	<p>例えば、どういう方が増えていくような形になるかわかりますか。</p>

放課後対策課長	<p>今のところ各学校2名以上は配置しておりますので、これでスタートしたいと思うのですが、人数を各学校何名と決めているわけではないので、状況に合わせてということになります。</p>
教育長	<p>私、昨日、スポーツ推進課のほうでスポーツ推進委員の委嘱式をやってきました。そこでも、もう若い人が入らない、どんどん高齢化してしまっている状況があります。それで、辞めたいんだけど辞められないと。いろいろなところで、高齢化したけれどもなかなか次の若い人が入らないという状況があちこちであるのかと思うのです。</p> <p>学校というのは子供の入学と同時に若いお母さんお父さんというのがどんどん入ってくると。この若いお母さんお父さんがどんどん入ってくる組織というのは、学校しかないかと思うのです。そのどんどん入ってきた若いお母さんお父さん方が、子供が卒業しても残るような形で学校と地域をつないでくれたら、とても持続可能な組織になっていくのかみたいな気がします。そこで育ったお母さんお父さんたちが、子供会なり、地域のいろいろなところで活躍していければという気持ちがあるのです。そうすると、PTAの役員をやったお母さんお父さんたちが、子供が卒業したらおしまいではなくて、何かうまく残って、地域とつなぎながら、なおかつ地域の何かこう活躍できる人材になったら、あちこちで言われている高齢化、若い人がいないという問題も解決になればみたいに思いますので、少し頭に入れながら人選をよろしく願います。</p>
後藤委員	<p>前回のときに、これは今日までという申し上げ方ではなかったのですが、教育委員会があり、地域があり、学校があり、それからこうしたコーディネーターやサポーターやアシスタントという、それをうまくイラスト化してわかりやすくできまいかという発言をしたつもりだったのですけれども。</p> <p>一般の方がコーディネーターとか言われても、なかなか学校とどういう関わり、どこどこをどうつないでというのがイメージしにくいと思うのです。だから、視覚的にわかりやすい何か図のようなものを、おいおいいただければありがたいなと思います。</p>
放課後対策課長	<p>ちょっと検討させてください。</p>

<p>芦田委員</p>	<p>議案第25号は、小学校からのコーディネーターの選出なのですが、今後中学校でのかかわりはどんなイメージになるのでしょうか。</p>
<p>放課後対策課長</p>	<p>基本的に小学校区は中学校区の中にあるものですから、小学校別に選出されたコーディネーターには、中学校においても見ていただくようお願いしようとは思っております。ただ、コーディネーターの中には、まだ意識の関係で、私たちは小学校のことで手いっぱいだと言われている方もいらっしゃるので、もし中学校でそういう場合に、あるいは中学校と小学校がまるきり重ならない学校もありますので、中学校は必要に応じてはコーディネーターをお願いするような場合もあろうかと思えます。</p> <p>ただ、基本的には、例えばひたち野うしく小と中根小のコーディネーターには下根中を見てもらうとかというような考え方でお願いしようとは思っております。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>例えば、下根中にもコーディネーターをお願いして、3つの学校のコーディネーターが連携していくという形でもよいのでしょうか。</p>
<p>放課後対策課長</p>	<p>それも有りだと思います。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>小学校でなければいけないということはないのですね。</p>
<p>放課後対策課長</p>	<p>いけないということはないです。一旦は小学校単位で選出させていただいたという意味です。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>わかりました。</p>

<p>教育長</p>	<p>私も事務局には、具体的な学校の行事で地域とつながることを、具体例で進めていってとお願いしてあるのです。学校の具体的な行事で地域とつながり、子供が育ち、地域が元気になるようなシステムを具体例で示していってあげるように、13校あれば13校なりの事例を挙げていっていただいたほうが、地区社協や区長さんたちにも安心して関わっていただけるのかと思いますので、その辺のこともよろしくお願いします。</p>
<p>放課後対策課長</p>	<p>教育長から今お話がありましたとおり、教育長から指示を受けておりまして、各学校で地域とどのようなつながり方をしているのか、学校によって特色があるものですから、それぞれ違うんです。その実態をまずはきちんと把握しまして、それを高めていくような活動をしていこうという考え方で進めています。</p> <p>議案第10号、議案第15号、議案第16号、議案第17号及び議案第25号について、出席者全員の賛成を得る。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、議案第26号「牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会委員の委嘱・任用について」、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>指導課課長補佐</p>	<p>議案第26号「牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会委員の委嘱・任用について」、ご説明いたします。</p> <p>本委員会は、牛久市におけるいじめ防止等の基本方針を体系的かつ計画的に行うために設置する4つの組織の中の一つとなります。定期で3回、さらに事案によっては臨時の会を設け、いじめ事案に関して協議・検討を行っていきます。</p> <p>任用期間につきましては1年間でございます。</p> <p>網かけとなっております3名の委員の方が異動になり替わられるということです。</p> <p>つくば大学の黒田卓哉氏ですけれども、若手の研究者であり、臨床心理士で</p>

	<p>もあります。以前、牛久三中やきぼうの広場でも勤務していた経験もあり、牛久市について理解もございます。</p> <p>また、昨年度社会福祉士で推薦をいただいていた福島委員、スクールソーシャルワーカーをやっておられましたが、その方が急遽再任できなくなりました関係で、現在社会福祉士会から新たに推薦をいただいている状況でございます。</p> <p>今後、その社会福祉士の1名追加を予定しておりますが、今回、以上8名の委嘱任用に関しましてご審議のほうをよろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>議案第26号についての質疑を受けるが質疑なし。 出席者全員の賛成を得る。</p> <p>次に、議案第27号「新中学校の校名について」、事務局より説明をお願いします。</p>
教育総務課 学校建設対策監	<p>議案第27号新中学校の校名につきましては、先月の定例会におきまして、協議事項としてお話をしていますが、改めてその後の経過についてご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、一般の方に広報紙を通じまして公募をしております。1月16日から2月15日までの約1カ月間の公募をさせていただきました。結果としましては、お配りしてあります資料のように、92種類の校名で、265件の応募がございました。</p> <p>そちらにつきましては、中学校建設の検討委員会というのを別組織としてつくってございましたけれども、その中で絞り込みをしていただきました。さまざまな意見の結果、「ひたち野」もしくは「ひたちの」を含んだ校名の中から選定するというのが一つ、牛久北中学校を候補とするというものが一つ、それから第六中学校を候補とするというものが一つということで、大まかに3つの候補というものが建設検討委員会で絞り込みをさせていただきました。</p> <p>今回、こちらの中からなるかとは思いますが、教育委員会で新しい中学校校名を決定していただければということで、今回議案として上程させていただきました。</p> <p>以上でございます。</p>

石井職務代理人	<p>私もまだ1つには絞り切れてはいないのですが、今の小学校と揃えた「ひたち野うしく中学校」か、もしくは今奥野キャンパスとしてこのロゴが統一されて今小中一貫校のほうに動いていますけれども、将来的にひたち野うしくもそういう形をとったときには、ひたち野キャンパスのほうが語呂はいいのかというところで、「うしく」を入れるか入れないかというところで個人的には今悩んでいるところです。</p>
教育長	<p>ひたち野キャンパスですか。</p>
石井職務代理人	<p>奥野キャンパスがありますので、もし同じような言い方をした場合、そういった言い方も一つのありかと思ひまして。将来的にあるかどうかはわからないのですが、そういうことを考えた場合にはということなのですが。</p>
教育長	<p>なるほど。そうすると、そういう場合はどれがよいのでしょうか。</p>
石井職務代理人	<p>「ひたち野うしく小学校」がありますから「ひたち野うしく中学校」か「ひたち野中学校」かいずれかなんですが、自分で絞れないところです。ただ、奥野の場合は二中なので、そこら辺はこだわらなくてもいいのかとも思うのですが。</p>
教育長	<p>「ひたち野」という名前をつけた中学校にしましょうということですね。</p>
石井職務代理人	<p>はい。</p>

後藤委員

学校の名前については、その時代時代によって考え方が違うがために、いろいろな発想でこれまで名前がつけられて、結果的にそれがなかなか今統一的に見えていないということなのだ、これはしょうがないことだと思います。

今の時代とこれから先の時代を考えたときに、やはり地域というのが一つの大きなキーワードとして浮上してくることは間違いないので、そうなってきたときに、あの地域がひたち野うしくと名づけられ、そこにたくさんの人が住まわれて、小学校ができ、というこれまでの経緯を考えたときには、やってみたらとても長くて大変だという実感を持たれるとは思いますが、ひたち野うしくという地名が長いからどうかしようという声が上がってきたわけでも多分ない。それから、小学校の名前が長すぎるので短くしましょうという意見が出てきたわけでもないことを考えると、これは実際にお子さんを通わせる親御さんがいろいろな書類を書くときに長くて大変だというのはよくわかるのですが、ただ、その地域のそれも一つの個性というか、それを認めてこの地域が今まで成立してきている以上、「ひたち野うしく中学校」という名前にするというのが一番よいのではないかという意見が多分、この第1位の、突出して応募数の多かった「ひたち野うしく中学校」という名前だったと思うのです。なので、個人的には「ひたち野うしく中学校」がよいのではないかと。

あとは、自分の個人的な仕事上、全国規模の研究会とか研修会とか大会とかっていうのをを行うときに、その地域の小学校と中学校、これをセット化して会場にすることがとても多いのですけれども、そのときに小学校の名前と中学校の名前が同じだと、その地域の教育理念みたいなものが統一されているというイメージで見えるんです。ですから、そういう意味でも、ちょっと長くはあるのでしょけれども、この大多数の意見を覆すような、それを超える何か根拠が見当たらないような気がしますものですから、第1位の名前でいくのがよいのではないかと思います。

五十嵐委員

私もまだ絞り切れてはいないのですけれども、やはり地名の「ひたち野」は残したほうがいいのかと思います。ただ、長すぎるということで、先ほどほかの委員も言われたとおり、ちょっと長いかなというものもあるので、そうすると、ちょっと校歌とかってどういうふうに難しいのかとかそこら辺のところも考えると、やはり「ひたち野」は残して、「うしく」をつけるかつかないかというところで、判断が迷います。

あと、小中一貫ということを考えても、やっぱり「ひたち野」というのは残しておいたほうがよいと思います。

<p>芦田委員</p>	<p>まさに私は我が子がお世話になる当事者ですので非常に迷うところではありますが、やはりひたち野うしく小学校というのも、最初に聞いたときは長いと思ったんですけども、みんな慣れるというか。</p> <p>校歌は、五十嵐委員がおっしゃいましたけれども、ひたち野うしく小学校の校歌って本当に歌詞がすばらしいんです。その点からいくと、そこには余り弊害はないのかなと思います。</p> <p>こう、並べてみた場合にも、ひたち野うしく中学校となったときに、中学校だけ牛久を漢字にするという、また何かちょっと違和感があるとも思うので、私は「ひたち野うしく中学校」、小学校と場所も隣接していますので、ちょっと離れたところにあるとまた違ってくるかとは思いますが、位置的なことも思うと、私はこの「ひたち野うしく中学校」が一番、皆さんの意見も多いところがいいかと思います。</p>
<p>石井職務代理者</p>	<p>私も特にその「ひたち野うしく中学校」が、今違和感が強いかということではないです。でも、そういった考え方もあるだろうということで、一番最初にこういうのを述べさせていただきただけなので、特に、今になっても75件と28%の構成比ですから、地元の方にとってはやはり一番なじみがあるというか、しっくりくるような名前なのかなということもありますし、そういった意味では受け入れやすい名前ではとは思っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>近隣の市町村において小中一貫教育については、9年間の学びということをやっているのですが、なかなかやはり校舎が離れていると連携も難しいということもあります。今回の場合はすぐ隣に小学校、中学校がありますので、そういった意味では非常に一貫教育でやりやすいところかなとも思います。何よりも市民が28%、断トツでこの名前を推しているということは、それ以上の理由がなかったら「ひたち野うしく中学校」が妥当ではないかという気が私はするのですが。多くの市民の要望に応えるような形で、いかがでしょうか。</p> <p>一応、具申という形ですので、これを市に提言するという形になって、市長部局で庁議にかけながら名前の決定という運びにはなってくると思いますので、教育委員会としてはこういう考えを持っていますということ、市長にご提案するという形で進めていければと思っているのですが、委員の皆さん、いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、事務局の方、そういう形で市長に提案するというところでお願いします。</p>

<p>学校建設対策監</p>	<p>では、ひらがなで「ひたち野うしく」で、小学校と同じ名称で、「ひたち野うしく中学校」ということで進めます。</p>
<p>教育長</p>	<p>そういうことで、よろしくをお願いします。</p>
<p>学校建設対策監</p>	<p>今、「ひたち野うしく中学校」というのを候補と、市長に対してはそれで具申するということになるのですけれども、今後のスケジュールでございます。</p> <p>最終的には、学校設置条例を議会に上程をして、決まったら正式決定ということになるのですけれども、今後の予定としましては、学校設置条例にしまして学校名と所在地だけでございます。それとあわせて通学区というのを決定しないと、本来の意味で学校の設置が正式に決まったわけではございませんので、まずここにちょっとあるんですけれども、牛久市学齢児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則というのがございます。これで学区を決定することになります。こちらに関しましては、通学区域審議会というものを開催して決定することになります。今の予定としましては、来月の教育委員会定例会におきまして通学区域審議委員の委嘱について議案を上程させていただく予定をしております。通学区域審議会、多分2回ないし3回ぐらいで結論が出るかと思っておりますけれども、順調にいけば9月の市議会定例会に、先ほど申しました牛久市立学校設置条例というものを上程したいと考えております。ですので、順調にいけば9月議会終了後に正式に決定という運びになるということをお伝えしておきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、新中学校の名前は「ひたち野うしく中学校」ということで、全会一致で進めていきたいと思っております。よろしくをお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、議案第28号「第一幼稚園の位置について」、事務局より説明をお願いします。</p>

教育総務課長

議案第28号「第一幼稚園の位置について」、ご説明いたします。

第一幼稚園の位置については、昨年10月の定例会におきまして、その際協議事項という形で提出させていただきまして、採決という形はとっておりませんが、委員の皆さまのご意見等をお示しいただいた中で、ひたち野うしく地区の中学校の隣の土地に、中学校とともに幼稚園も位置づけていくような方向性で進めていきたいと思っておりますというように、方向性のある程度お示しさせていただきました。

平成29年度、新年度に入りまして、現在の中根小の児童数から推測しますと、平成30年度末までに第一幼稚園は移転しないと教室不足が生じるという予測でございます。ということで、平成29年度予算におきまして、実施設計業務委託費527万円を今現在当初予算で計上しているところでございます。実施設計については平成29年度早々に発注をする予定ですが、発注をしていくに当たりまして、やはり場所というものをまず定めなければいけないという時点で差しかかっておりますので、事務局として再度比較検討の資料を付した上で、今回は議案としてご審議いただきたいという形で上程させていただきました。

では、資料をご覧くださいと思います。A3判の縦長の資料になります。まず、これまでの経過と現状ということで、振り返りをさせていただきます。過去に開催しました幼稚園運営協議会、これは外部の委員ですが、これにおいて公立幼稚園の方向性を審議する中で、その位置的な部分について、保護者が自転車で送り迎えのできる位置というご意見が上げられました。現在の第二幼稚園との区域の分担を考えた場合に、答申の中で「ひたち野地区又はその周辺部に整備すべき」という答申文が示されました。

次に、同じく運営協議会の審議の中で、第一幼稚園の位置というのは、具体的に今考えられる場所としては、岡田小学校隣接の旧園舎がある跡地。もう一つといたしましては、現在の中根小の園舎、ただし中根小内は設置できませんので、その周辺地ということでございます。及びひたち野地区の新中学校の用地の周辺という、3つの案があるのではないかとという形で議論がなされました。

そういった中で、用地等の状況など、そういった条件的なものから、3つ目の新中学校の用地として購入したあたりが最も適当であるという意見が参考として付されました。

先ほど申し上げましたように、10月の定例会において協議事項として話し合いが行われました。

平成28年度に実施いたしましたひたち野地区の新中学校の基本設計の検討の中では、そういったお話もあった中で、第一幼稚園の配置について検討し、あの敷地内に配置することが可能であるというところまでは確認してござい

す。

これが、これまでの経過と現状でございます。

では、先ほど申し上げた3つの候補地について比較検討の表を事務局でつくらせていただきましたので、お示しさせていただきます。

まず、3つの候補地とさせていただいた理由といたしましては、いずれも幼稚園運営協議会の中で意見として出された場所であるというのが一つでありました。

2点目といたしましては、公立幼稚園2園体制というものを維持すると考えた場合に、第二幼稚園は旧市街地でございます。ですので、旧市街地でなく、ひたち野地区の新市街地の隣接の条件を満たす場所の中で、土地の所有、現在市が所有する土地及び現在の第一幼稚園の位置などから、3つの候補地といたしました。

1点目が、旧園舎の跡地。2点目が、中根小学校付近ですが、このとき議論をしたのは東側の畑の部分、もちろん個人の所有地ですが、想定ということで、そのあたりを想定して議論されておりました。3点目が、ひたち野地区に今回購入しました、タキイ種苗の牛久農場跡地という3カ所でございます。比較検討した条件ですが、まず立地。次に用地の状況、これについては費用面、面積面、駐車場の確保。次に給食の提供。幼小中の連携というあたりを点数づけしてみました。

まず、立地についてです。旧園舎につきましては、市街地から離れており、徒歩や自転車での送迎にはやや不適ということと、出口、牛久高校から出るところの出口ですが、ここはかねてから交差点が交通上危険な場所であるということは知れ渡っているところでございます。次に、中根小付近、こちらにつきましては、子育て世代の多いひたち野地区の隣接であるということが一つあります。ただ、周辺部の近辺の道路は若干狭いということが考えられます。3点目に、ひたち野地区でございます。これも同じく、まさにひたち野地区隣接です。周辺の道路については、住宅地側はほぼ整備されているという状況であります。以上から、立地については左側から△、○、○という形でつけていきました。

評価ですが、○、△、×ということで、1点だけ◎というのをつけてみました。それぞれに点数化して計算いたしました。

次に、用地の状況についてです。費用面ですが、まず旧園舎跡地につきましては、既存の用地を利用可能であるということで用地費はかからないのですが、実際には旧園舎の解体撤去費が必要ということで、過去に見積もりをしたときには2,600万円ぐらいかかるということでした。次に、中根小付近です。これは、中根小学校敷地内は無理だということで、隣接に用地買収が必要となります。周辺部の売買の例からすると1,800万円程度が必要だということで、△でございます。次に、ひたち野地区につきましては、新中学校用地として取得済みのタキイ種苗跡地内へ配置すれば新たな用地取得は不要ということ

で、新たな取得費としてはかからない。ただし、一帯で用地取得費はかかるというのがございます。

ということで、△、△、○という形で評価いたしました。

続きまして、面積についてです。

まず、旧園舎の跡地は2, 309平米ございました。フェンスで囲まれた中が2, 169平米で、隣に駐車場が少しあるのですが、これは正確ではないのですが、図面上で測ると大体140平米ぐらいということとでございます。第二幼稚園が2, 987平米ということで、そこよりは狭いが敷地としては十分あるということで、○といたしました。中根小付近、これは現状で用地がないので×としました。タキイ種苗内、これは基本設計の中で配置してみたところ、大体2, 700平米程度は確保可能かということで、○といたしました。

次に、駐車場の確保でございます。

まず、旧園舎跡地については、敷地外の駐車場は、現状の現地を見ても分かりますとおりに不足しています。個人の車両のみで5、6台駐車しますと、ほぼいっぱいになってしまうということで、×としました。中根小付近については、これはちょっと離れてはしまうのですが、中根小の下の部分に駐車場、これは一昨年に教育委員会で用地買収しましたので、かなり広い駐車場はあります。ただ、園へのアクセスは悪いということで、△としました。ひたち野については、これは配置計画ですので、計画する中で確保が隣接して可能であるということで、○ということにいたしました。

次に、給食の提供です。

岡田小についてですが、これは現地でわかるように、旧園舎については高い位置にありまして、岡田小の給食室はかなり離れているということで、渡り廊下でつなげることは不可能ですので、運搬車両が必要ということで、×としました。中根小の隣接地については、一応フラットですので運搬は渡り廊下をつなげれば可能かとは思われますが、給食室からは相当の距離があるということで、△としました。ひたち野地区につきましては、これは基本設計の配置の中で給食室というのを意識しながらある程度配置の位置も検討できましたので、距離的にも比較的短い距離で可能かということで、○といたしました。

次に、幼小中の連携という部分でございます。

旧園舎跡地については、岡田小との連携が可能ということで、○。中根小付近については、中根小と連携が可能ということで、○。ひたち野地区については、ひたち野うしく小に加えて新設中学校との幼小中連携が考えられるかということで、これについては、○の一段上で◎という点数づけをしております。

なお、幼稚園運営協議会で出された意見としては、下に示しました。

まず、旧園舎跡地については、古い園舎は早急に取り壊す必要があるのですが、そこに整備するというのも考えられる反面、駐車場の確保という部分では難しいのではないかということでの意見が出ていたかと思えます。中根小付近については、用地買収を伴うことから特に意見としてはなく、最初から外れてきて

	<p>いたような状況です。3つ目のひたち野地区につきましては、幼小中の連携を生かし、例えばですが、幼児教育センター的な機能を発揮する場合にも発揮しやすい場所、ここじゃなくても、必ずしもそういったものは配置可能とは思われますが、一応協議会の中でそういった意見が出ました。また、幼小中連携の実践モデル的な地域になってくるのではないかというご意見も出ました。</p> <p>下の意見は参考意見といたしまして、それ以外の条件の部分をお、×、△、◎で3点数をつけることといたしまして得点いたしました。まず旧園舎跡地が6点、中根小学校付近が7点、ひたち野地区が13点というような、一応事務局としては点数づけを行ったものですので、これをもとに再度ご審議等をいただいで候補地を決定していただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>今、事務局より説明がありましたが、10月にもある程度話し合った内容ではあるかと思えます。委員の皆さまからご意見またはご質問等ありましたらよろしくお願ひします。後藤委員、お願ひします。</p>
後藤委員	<p>前回のやりとりでほぼ了解という形で認識していたものですから。今回、この運営協議会での、どんな考え方を持っておられたのかというのを、我々としては確認する必要があるのかというふうになんちよっと思ひました。</p> <p>この中の文章で、まずは追加費用がなく2,700平米が確保できるというのはもう絶対的な利点というふうになんちよっと思ひできるのと、それから運営協議会の考え方として、幼小中の連携に言及してたり、幼児教育センター的な機能を発揮しやすいのだと、こういうふうになんちよっと思ひておられるということを尊重すべきなのだろうと、そういう意味で、前回はそういうものをおくみ取りした上で、ここしかないのだろうなという実感をしました。</p>
石井職務代理者	<p>今、後藤委員からお話があったように、幼児教育が大変重要視される中で、幼児教育センター的な機能を牛久市立の幼稚園には求められるといったことがこれまでの意見の中にあつたかと思ひますが、そういう意味ではそれを具体化できる場所としてはふさわしいかと思ひます。</p> <p>ただ一点、北側、多分土浦になると思ひますが、こちらの平地林、かなり山深くて手入れされていない地域になりますので、そこの部分の保安といひますか、基本的に不審者対策とかそういう部分にご配慮だけいただければ、場所</p>

五十嵐委員	<p>的にはよろしいかと思ます。</p> <p>私もやはり小中連携ということから、それからこれからの幼児教育のセンター的機能を発揮しやすい場所ということで、この場所でいいのかと思ます。</p> <p>ただ、センター機能となると、ここにもうちょっと、駐車場のスペースとしては何台ぐらいを想定されているのかということはお聞きしたいです。センター機能ってなると、研修とか何かということで、送迎だけとは限らないものも出てくると思うので、その辺のところはどのようなになっているのでしょうか。</p>
教育長	<p>事務局として、そのセンター機能ということに関してどういうお考えがあって、駐車場のこともどう考えているかということではありますが、よろしく願います。</p>
教育総務課長	<p>基本設計の中で配置した際には、正直申しましてそのセンター機能という部分について、特別に部屋を設けたり、また駐車場を多目にとったりという考えは、配置の中では行っておりません。ただ、周辺部に先生方の駐車場であったり、きょうお配りしてあるこの資料の中にも駐車場についてかなりふんだんにはとれている形ではあると思ます。この幼稚園の建設候補地という中にも若干の駐車場は確保していたかと思われます。</p> <p>センター機能のための部屋なり駐車場ということは、基本設計の検討の中ではまだ触れてはおりません。</p>
五十嵐委員	<p>センター機能っていうところには、何かすごくイメージをふくらませすぎたのかもしれないのですが。</p>
教育総務課	<p>これについては、運営協議会の中ではそういった考えも一つあったということでお示したのですが、必ずしもそこがセンターの場所になるかどうかというところもあると思ますので。</p>

教育長	佐藤建設対策監、何かありますか。
学校建設対策監	<p>それでは、中学校建設検討の中での配置案ですけれども、ちょっと図面を今日はお持ちしていないのですけれども、こちらを見ていただくと、こちらの平面図がございます。</p> <p>普通校舎が3棟になっていますけれども、一番南側の普通校舎がございますけれども、これの延長線上に園舎を配置するという考え方をしております。そして、その園舎の北側は基本的に駐車場にしましょうと。これはもちろん、幼稚園の教職員の駐車場並びに送迎用の駐車場ということでございます。その南側に関しまして、子供たちが遊ぶ園庭になろうかと思えます。その下に小学校教職員用駐車場ということで、こちらはひたち野うしく小学校の教職員用ということで配置をしておりますけれども、体育館の西側に駐車場がございます。これは通常はあいている駐車場でございますので、先ほどありました研究協議会等があれば、そのときに限ってひたち野うしく小の先生方にこの西側の駐車場に移動していただければ、この小学校教職員用の駐車場というのはかなりのスペースがありますので、それを活用することも可能ではないかと考えております。</p> <p>以上です。</p>
芦田委員	<p>幼稚園をこの中学校の敷地の中にとということには異議はないのですが、一つ、先ほど石井委員が北側には雑木林があって治安が心配されるとおっしゃいましたけれども、東側は隣接して住宅地なんです。東京都内なんかでも幼稚園、保育園を新しくつくる際に、今非常に子供たちの声ですとか、保育園、幼稚園から出てくる音という問題が大きく取り沙汰されていて、その計画自体が白紙に戻ったりということもあります。そこから考えると、この敷地のすぐ横は道路幅もそんなに広くなく、中学生の往来もあつたりとか住民の方たちの通行もあつたりということで、そこが若干気にはなるのですが、騒音の住民への説明等を含めて、いかがでしょうか。</p>
教育総務課長	やはり事務局内でも一番心配している部分ではございます。ただ、通常の第一幼稚園の運営の中で、余りスピーカーを使って園庭で呼びかけるとかそういう

	<p>うことは、今現在は特に中根小の中ですので、そういった運営は行ってないということです。子供たちの声は若干あるかと思うのですが、フェンスなり生け垣ということで、ある程度防げるのかと思っています。</p> <p>それと、送迎の車の心配もあるのですが、基本的にはこちらの1号線のほうから入ってくるような形でできればいいかなとは考えております。ただ、どうしてもこの道路はやっぱり通り抜け、どうしても皆さん使っている道路でもありますので、そのあたりもやっぱりちょっと道幅的なものが仮に広がったりすると、そういった心配も逆に生じるかと思えます。なるべく住宅地内に入り込まないで済ませるような方策、先生方の車は朝1回だけですので何とかかなと思っていますが、そういった検討をしいきたいと考えております。</p>
<p>学校建設対策監</p>	<p>子供の声の騒音問題ということだと思えるのですが、余り積極的につくりたくはないのですが、場合によっては住宅側に遮音壁というものの設置というのもしっかり念頭には入れておく必要があるかとは考えております。</p> <p>それと、送迎に関しては、これは中学校の子供たちの通学もそうですけれども、やはり通学のルールづくりというものをやって、例えば幼稚園に関しましては西側の市道1号線ですけれども、そちらから入って、北側の道路を通過して、それでここで子供たちを降ろしたらそのまま真っすぐ今度国道6号のほうに向けるということで、この実際の住宅地の中の道路に入っていないようなそういう通園・通学のためのルールというものを考えることによって、ある程度防げる部分はあるのかとは考えております。</p>
<p>教育長</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>それでは、先ほど後藤委員から出たように経費的な面、それから今、芦田委員から出たように声とか音というような問題、通学路等の問題等はこれから設計をしていく上で検討していただくということで、幼稚園の運営協議会の意見にもありますように、今のひたち野地区の中学校用地につくりながら、幼小中の連携や幼児教育のモデルになるような幼稚園をつくっていくという方向で進めていくということで、皆さんよろしいでしょうか。その方向で賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">議案第28号について出席者全員の賛成を得る。</p>

教育長	<p>次に、報告第9号「平成28年度牛久市奨学金の受給者について」、事務局より説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>報告第9号につきましては、平成28年度の奨学金の受給者についての報告でございます。</p> <p>資料ですが、1枚めくっていただいて、最終的に確定として一般奨学金25名、交通災害遺児等奨学金1名という形でまとまりました。26名の方についてなのですが、お一人の方が退学されたと。2年生の方なのですが退学されたということで、一般奨学金が25名という形となっております。</p> <p>なお、平成29年度につきましては条例改正も行っておりまして、金額も12万円となっているのですが、これを半期ずつ2回に分けてお支払いするという関係上、間もなく4月中ぐらいには決定を行いたいと思います。募集のほうは2月に行っております。4月下旬か5月早々には決定をお出しして、10月に1回目の支払い、2回目を来年の4月に入って支払いという形に、2回に分けて6万円ずつ払うという形に変えていきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>平成28年度でよろしいですね。</p>
教育総務課長	<p>平成28年度です。平成28年度にきちんと在学した方について、在学を確認して、年度末に払うということです。退学してしまった方は、決定してあっても除いております。</p>
教育長	<p>それでは次に、予定価格130万円以上の工事計画及び予定価格100万円以上の教育財産の取得について、各課より報告がありましたらお願いします。</p> <p>教育総務課</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成29年度牛久南中学校校舎大規模改造工事（建築1期工事） 牛久南中学校の校舎の老朽化に対してリフォームの改修を行う。</li> </ol>

<p>教育長</p>	<p>校舎：管理・普通教室棟及び給食室棟 4000㎡          管理・普通教室棟のトイレ 126㎡          設計額 238,464,000円</p> <p>2. 平成29年度牛久南中学校校舎大規模改造工事（電気設備1期工事）          牛久南中学校の校舎の老朽化した設備器具の更新を行う。          校舎：管理・普通教室棟及び給食室棟 4000㎡          管理・普通教室棟のトイレ 126㎡          設計額（予定） 45,802,000円</p> <p>3. 平成29年度牛久南中学校校舎大規模改修工事（機械設備1期工事）          牛久南中学校の校舎の老朽化した設備器具の更新を行う。          校舎：管理・普通教室棟及び給食室棟 4000㎡          管理・普通教室棟のトイレ 126㎡          設計額（予定） 34,570,000円</p> <p>4. 平成29年度牛久第一中学校体育館改築建築工事          老朽化し耐震力不足になった体育館を改築する。（築52年）          設計額 594,713,000円</p> <p>5. 平成29年度牛久第一中学校体育館改築機械設備工事          体育館改築に伴う機械設備工事          設計額 13,598,000円</p> <p>6. 平成29年度牛久第一中学校改築電気設工事          体育館改築に伴う電気設備工事          設計額 54,982,000円</p> <p>7. 平成29年度牛久第一中学校部室棟解体工事          体育館改築に伴う部室棟解体工事          設計額 12,496,000円</p> <p>8. 平成29年度牛久第一中学校プレハブトイレ設置工事          体育館改築に伴う屋外トイレ設置工事          設計額 2,625,000円</p> <p>9. 平成29年度牛久第一中学校構造設計監理業務委託          体育館改築工事の伴う工事監理          設計額 3,381,000円</p> <p>10. 平成29年度（仮称）牛久市立ひたち野うしく中学校用地測量業務委託          新設中学校建設予定地の用地測量 地積 4.7ha          設計額 8,078,400円</p> <p>では、その他ないようでしたら、各課からの報告に移りたいと思います。部長のほうから順次お願いします。</p>
------------	--

教育部長

平成29年度第1回目ということで、今年度も1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

平成29年度につきましては、今工事計画等でもご報告をさせていただきましたが、大型の建設工事が非常にあるということで、今のご報告のほか、下根中のトイレ改修工事、それから国体推進課では牛久運動公園に武道館を建設する工事。新中学校に関しては測量の今報告がありましたが、そのほか造成、既存の建物の取り壊し等の工事が入ってくるということで、予算規模的にもかなり大きなものがございます。そういう中で、しっかりと計画を立てて進めていきたいと考えておるところでございます。

ちょっと前後しますが、今年度先ほどもご紹介をさせていただきましたように、教育委員会の体制ですが、昨年まで課内室であった国体準備、それから生涯学習が課に昇格ということで、7課1館体制ということで、役所内の部門では一番大きな部門になったと、数で言うと合計8課ということですので、これだけのメンバーがそろっております。そういった中で、それぞれが非常に多岐にわたる業務を抱えているということで、教育委員会にもさまざまなご相談をさせていただきながら事業を進めていかなくてはいけないということでございますので、何かありましたらその都度定例会、場合によっては臨時会の招集等でご相談、ご提案、ご報告等させていただくことになると思いますので、何とぞ今年度1年間よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

飯野次長

私からは、教育長からの報告にありましたように、新年度になって2週間が過ぎまして、所管するところが替わりまして、一昨日武道館、武道場建設に向けた各団体の意見の調査会議とかそういったものを初めてやりまして、いろいろな団体の方の運営委員における第1回目ということで、顔もわからずに出たところでもあります。いろいろな意見をいただいてということで、その武道館の構想計画も承認して、次の段階へということで、進んでいくのかと思います。

また、生涯学習課からの5月3日の鯉まつり、掲揚ポール等の若干問題がありまして準備に向けて進めなきゃならないということで、外の施設いろいろ、下根のほうあるいは生涯学習センターとばらばらになっているところでもありますけれども、いずれにしても市民サービスの利便性向上に向けたところが目的ですので、目的を一つにして事業をやっていきたいと思います。

以上です。

<p>教育長</p>	<p>文化芸術課</p>	<p>甲州市訪問の件について ノノキスの件について</p>
	<p>生涯学習課 指導課</p>	<p>ロータリー広場設置作品について 平成29年度文化公演事業について 第28回うしく・鯉まつりについて 市内の中学校卒業生の進路先について 「牛久の教育」について</p>
	<p>教育総務課</p>	<p>牛久一中体育館工事について 平成29年度教育委員会定例会の日程について 新設中学校の事務作業状況について</p>
	<p>スポーツ推進課</p>	<p>首都大学野球リーグ公式戦の開催について 運動公園プールについて</p>
	<p>中央図書館</p>	<p>第16回こどもとしょかんまつりについて</p>
	<p>以上で4月定例会を終了いたします。 次回の定例会は5月22日市役所分庁舎第2会議室、午後1時30分から開催となります。よろしくお願ひいたします。 本日はご苦勞さまでした。</p>	